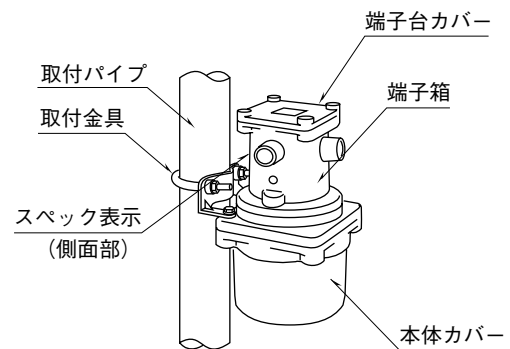


- 配線作業終了後、本体カバーおよび端子台カバーが確実に固定されているのを確認するまで、回路に電源を入れないで下さい。

ご注意事項

- 使用温度範囲は -20 ~ +55℃です。ただし、収納する避雷器の使用温度範囲がこの範囲より狭い場合は、それに制限されます。
- 養生テープ等を直接塗装面に貼らないで下さい。塗装が剥がれる恐れがあります。やむを得ず貼る場合は、粘着力の弱いものを使用し、ゆっくりと丁寧に剥がして下さい。

各部の名称



主な特長

- BX-E は、電子機器専用避雷器 M・RESTER シリーズを、信号伝送器や検出器近くの、爆発性雰囲気のある露天環境に設置する場合にご利用いただけます。
- ・工事中に破損しにくいアルミ鋳物で、ゴムパッキングを用いた耐圧防爆構造です。
 - ・2 インチスタンション (2B パイプ) に取付けられる形になっています。
 - ・直射日光下でも内部温度上昇しにくいよう銀色塗装を施しています。

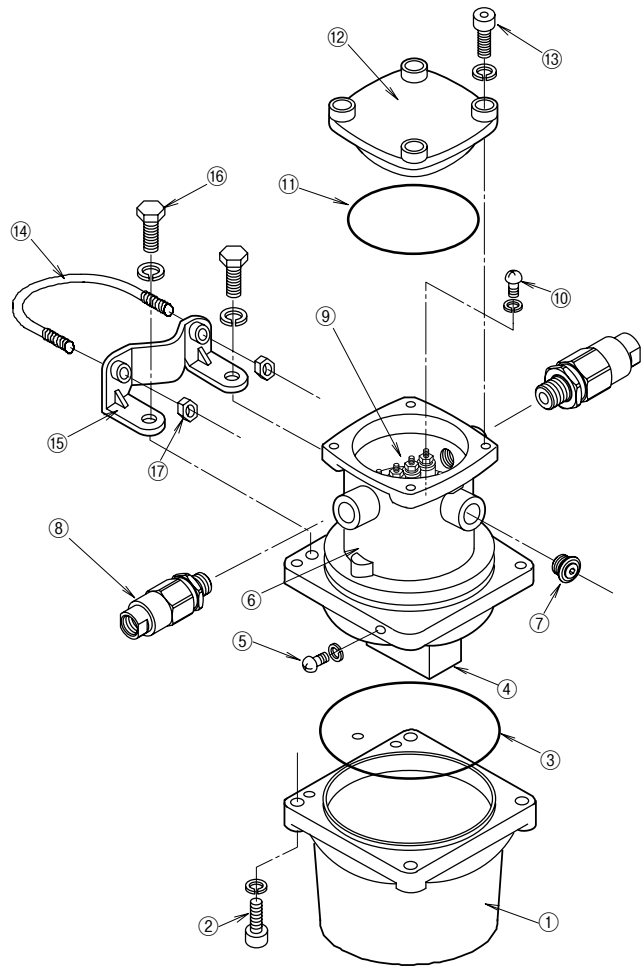
組立

取付は、本体部分を付属の取付金具を用いて2インチスタンション (2Bパイプ)、または壁取付ができます (取付方法項 P4 参照)。

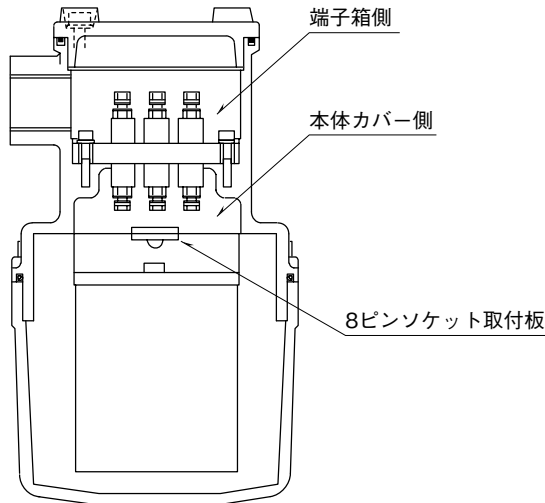
●構成部品

- ①本体カバー 1
- ②六角穴付ボルト (M 8 × 20 W 付) 4
- ③Oリング 1
- ④避雷器 1
- ⑤外部アース端子 (W 付) 1
- ⑥端子箱 1
- ⑦閉塞栓 1
- ⑧ケーブルグラウンド (ケーブル配線の場合) 2
- ⑨端子台 1
- ⑩内部アース端子 (W 付) 1
- ⑪Oリング 1
- ⑫端子台カバー 1
- ⑬六角穴付ボルト (M 6 × 20 W 付) 4
- ⑭Uボルト (2B、M 10) 1
- ⑮取付プレート 1
- ⑯六角ボルト (M 8 × 15 W 付) 2
- ⑰六角ナット (M 10) 2

組立図 (収納タイプA、B、E、Fの場合)



断面図 (収納タイプC、Dの場合)

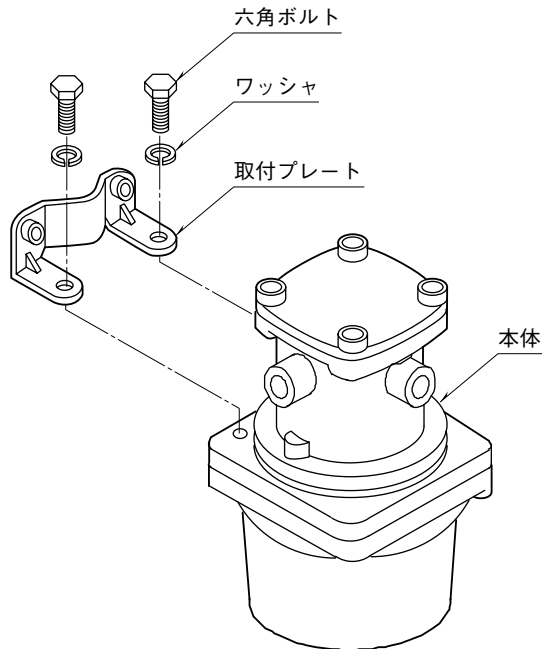


取付方法

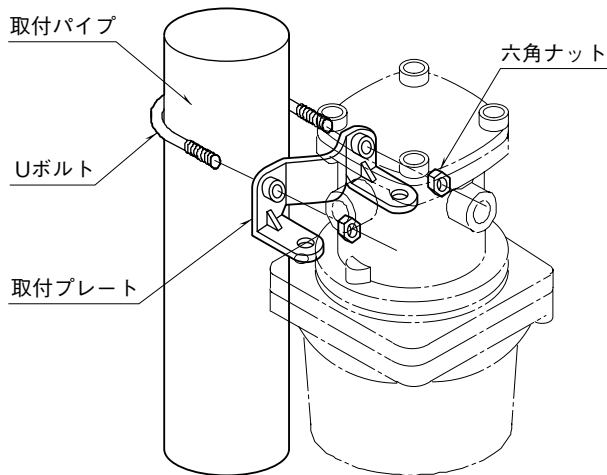
取付は、下図の取付方法および外形寸法図・取付寸法図を参考に行ってください。

■取付方法

- ①取付プレートを六角ボルトにて本体に固定します。本体のボルト位置は、外形寸法図をご参照下さい。

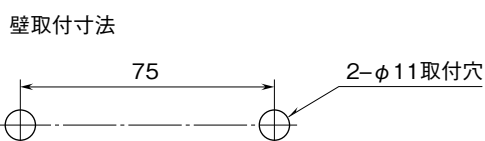


- ②取付プレートを取付パイプにUボルトと六角ナットでしっかりと固定します。

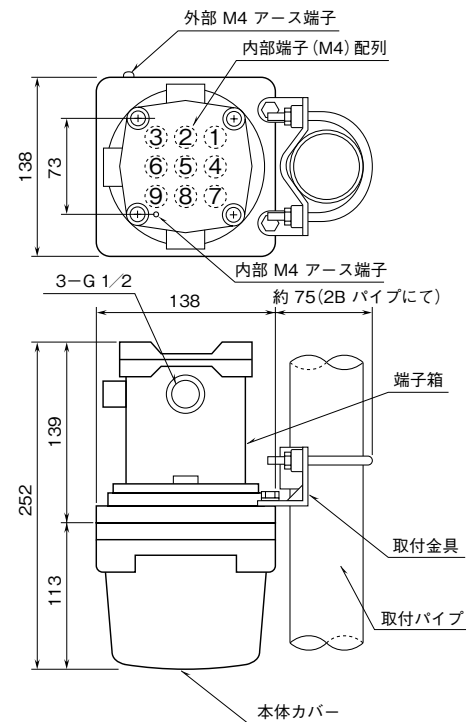


- ③壁取付の場合は、①の方法に従って本体と取付プレートを固定後、取付けて下さい。

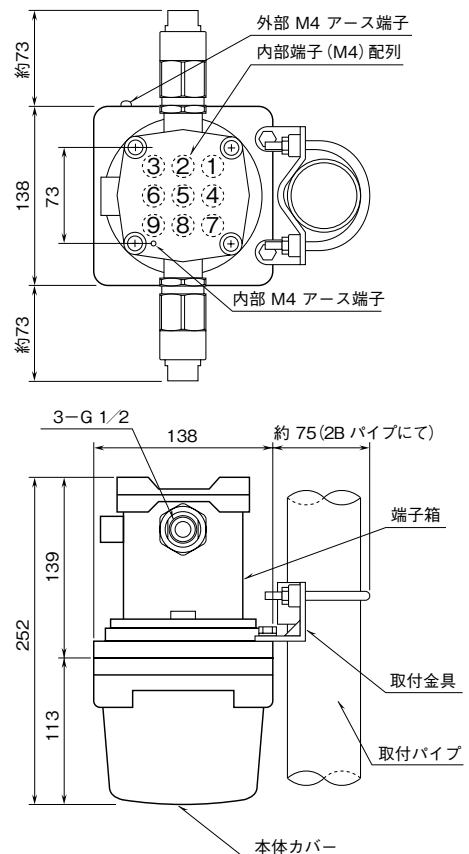
取付寸法図 (単位: mm)



外形寸法図 (単位: mm)



■ケーブル配線時



△配線

配線は、防爆電気配線として適合する方法で行って下さい。
 下記項目以外は、「ユーザのための工場防爆電気設備ガイド(ガス防爆)」(旧労働省産業安全研究所編纂)に従って下さい。
 配線引込みは、金属配管またはケーブル方式です。
 ケーブル方式の場合に用いるケーブルグラントは、本器に付属のものまたは下記に指定のものを使用して下さい。
 ケーブルグラントまたは閉塞栓を追加される場合は、下記形式のものを使用して下さい。

・ケーブルグラント

弊社 形式：BX-E-SXC (適用ケーブル径：φ8～10 およびφ10～12)
 金子産業株式会社 形式：TG-P2 16×16 (適用ケーブル径：φ9～10.5)
 島田電機株式会社 形式：SXC-16B (適用ケーブル径：φ8～10 またはφ10～12)

・閉塞栓

弊社 形式：BX-E-SBP
 島田電機株式会社 形式：SBP-16

ケーブルグラント(ケーブル配線の場合)および閉塞栓は、いずれの電線管接続口に用いることも可能です。
 配線作業中は、水がかからないよう保護して下さい。

■金属管配線の場合

電線管接続口のねじは、G1/2です。適合する金属管を使用して下さい。
 防水が必要な場合は、ねじ部にテフロンシールや液状ガスケットなどの非硬化性シール材を用いて下さい。
 本器に接続される各配管には、本器から45cm以内にシーリングフィッチングを必ず設け、シーリングを施して下さい。

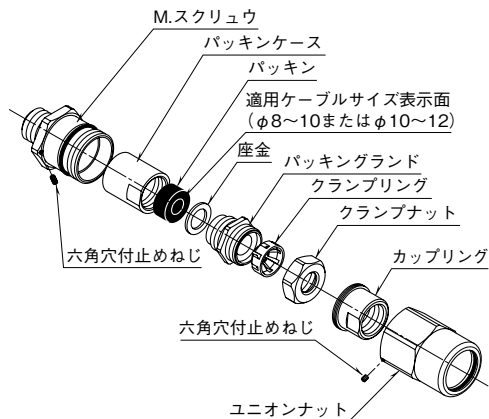
■ケーブル配線の場合

本器に付属のケーブルグラント(形式：BX-E-SXC)をご利用の場合は、同梱されたパッキンの中から、ケーブル外径に適したものを選択して下さい。パッキンにケーブル外径が表示されています。
 ケーブルグラント各部件の締付けは、スパナなどの工具を用いて行って下さい。

●本器に付属のケーブルグラント(形式：BX-E-SXC)

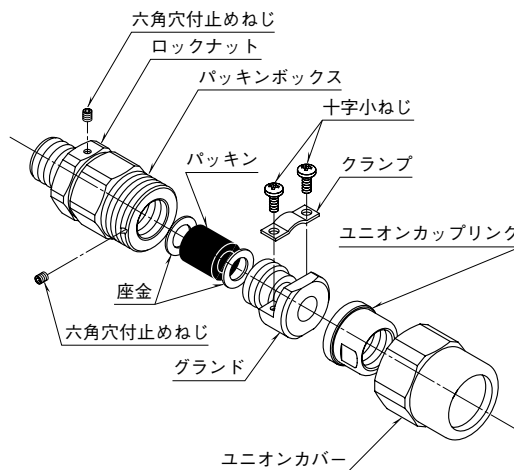
または島田電機製 SXC-16B をご使用の場合

- ① M. スクリューを電線管接続口に、Oリングが十分に密着するまでねじ込みます。ただし、Oリングがはみ出さないようにします。
- ② ケーブルを図の順番で各部品に通します。
- ③ パッキンケースにパッキンおよび座金を挿入し、パッキングランドをパッキンケースにねじ込んで締付けます。締付け後、ケーブルを手で引っ張り、抜けないことを確認して下さい。
- ④ パッキングランドにクラプリングを挿入し、クラプナットを締付けます。締付けはクラプリングの先端がケーブルシースに接触してから、クラプナットを約1/2回転ねじ込む程度とします。
- ⑤ 組立てられたパッキンケースをM. スクリューに挿入します。
- ⑥ 電線保護管をユニオンナットに通してから、カップリングに接続します。
- ⑦ ユニオンナットをM. スクリューにねじ込みます。
- ⑧ M. スクリューおよびユニオンナットの六角穴付止めねじを締込み固定します。



金子産業製 TG-P2 をご使用の場合

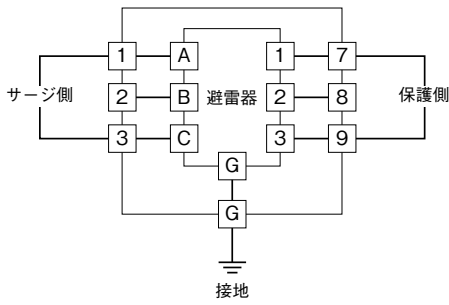
- ① パッキンボックスを電線管接続口に、Oリングが十分に密着するまでねじ込みます。ただし、Oリングがはみ出さないようにします。
- ② ロックナットで固定し、六角穴付止めねじを締込み固定します。
- ③ ケーブルを図の順番で各部品に通します。
- ④ 座金およびパッキンをパッキンボックスに挿入し、グラントをねじ込みます。締付け後、ケーブルを手で引っ張り抜けないことを確認して下さい。
- ⑤ クラプをグラントに取付け、十字小ねじを締付けます。
- ⑥ パッキンボックス側面の六角穴付止めねじを締付けて、グラントを固定します。
- ⑦ 電線保護管をユニオンカバーに通してから、ユニオンカップリングに接続します。
- ⑧ ユニオンカバーを止まるまで、パッキンボックスにねじ込みます。断してからカバーを取外して下さい。また、周囲に爆発性の危険がないことを確認して下さい。



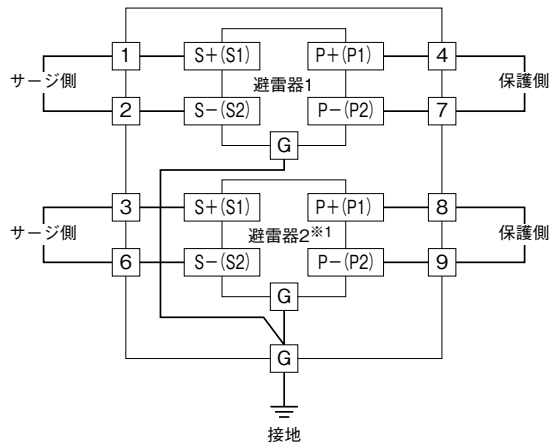
注) 組立および配線作業終了後、各カバーのねじに緩みがないか確認して下さい。緩んでいると水や埃が侵入する原因になります。

端子接続図

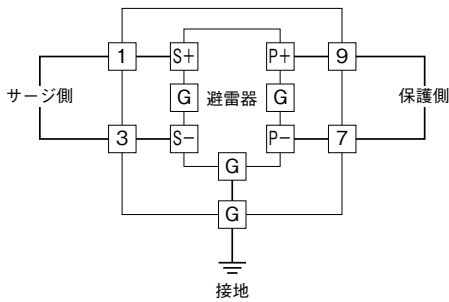
■収納タイプA



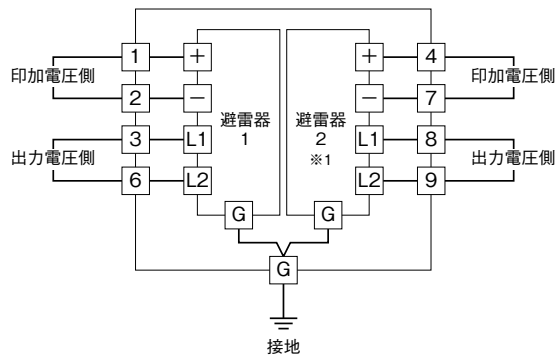
■収納タイプE



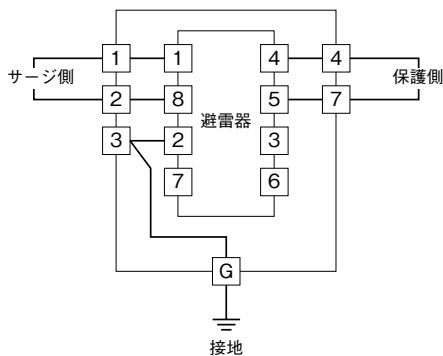
■収納タイプB



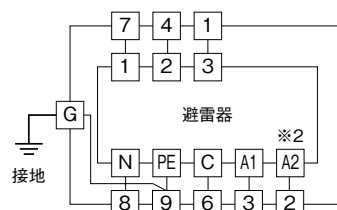
■収納タイプF



■収納タイプC

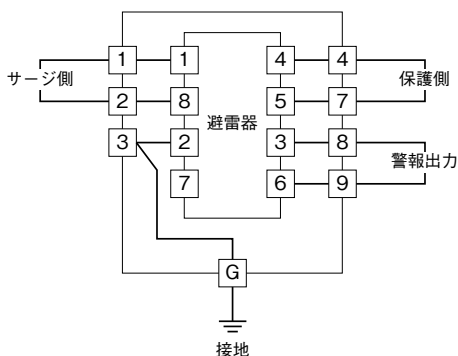


■収納タイプG



※1、1台のみ収納の場合、避雷器2は非収納です。
 ※2、警報出力端子 (C、A1、A2) は、警報出力コードAの
 ときのみ付きます。

■収納タイプD



保 守

収納されている避雷器の保守を行う場合は、必ず回路の電源を遮断してからカバーを取外して下さい。また、周囲に爆発性の危険がないことを確認して下さい。

避雷器の保守方法は、収納されている各避雷器の取扱説明書を参照して下さい。

保守作業終了後は、カバー取付用のボルトがしっかり締まっているのを確認した後、回路電源を投入して下さい。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。